

一般質問

で、地域コミュニティが求められる。相互扶助意識の希薄化、若年層の減少・高齢・過疎化でコミュニティ意識維持の困難。社会を構成する各地域を活性化させ、向上と水準を高め、地域コミュニティを通じて地域づくり、まちづくりへの進展へ。

答 地方自治・住民自治に向けた共助・協働によるまちづくりが重要。コミュニティ活動を促進・助長し、支援・協力する役割がある。組織の育成活動の活性化を支援し、まちづくりのパートナーシップとして期待を持つ。

問 活動推進員の役割と機能。
答 推進員制度を設け、部長職を担当制で配置。指導・助言など日常的な課題の調整解決を図る。十分に機能していない実態もある。

問 情報発信の考え、人材活用・育成は。
答 情報交換できるよう、懇談形式に変更。市長と語ろう地域懇談会においても、情報を伝え課題・振興策など、コミュニティの活性に結びつくように進めている。研修・研究会派遣、出前講座の活用推進を含め、情報発信・人材の

育成に取り組んでいく。
問 専門部局の設置は。
答 庁内の各担当部局が地域協働を進めるモデル基盤を作ることを最優先とし、部局設置は機構改革に併せて検討。

農村と都市との融合と交流
問 農村観光都市形成として農村での観光との融合は理解されているのか。
答 顔の見える農業・消費者との交流、直売所設置や観光客との交流により、農業と観光と連携はさらに強まり、理解は深まっている。市民合意形成を図る。

農村と都市との融合と交流

問 農村観光都市形成として農村での観光との融合は理解されているのか。
答 顔の見える農業・消費者との交流、直売所設置や観光客との交流により、農業と観光と連携はさらに強まり、理解は深まっている。市民合意形成を図る。



農村観光風景

問 農村・観光の役割とは。
答 相互理解のもと農業は農地保全・景観形成、観光は地

元農産物や加工品の消費拡大の役割を担う。農業と観光の連携による経済を循環させることが活性化につながる。
問 関係機関との連携は。
答 コーディネート役を担う組織として、NPO法人グリーンステージが総合窓口として宣伝誘致・受入対応。

宮田均

〔無所属〕

駅前再開発に於ける検証は

問 5月1日から5月20日の間、駅前広場は交通規制により、営業車だけの利用となり、一般市民、観光客、身障者、歩行者などへの配慮が全く感じられず、多くの一般車の送迎は、朝日通りカーブに停車し危険であった。観光客もインフォメーションへの不便を極め例年に比ベインフォメーション機能が低下し、駅売店、飲食店への影響も多大であり、雨降り等は一般市民が大きな荷物を持ち、走る姿が目についた。営業車（バス・タクシー）と同じ目線でどうして市

民、観光客などへの配慮が出来なかったのか。
答 期間中は公共交通機関の車輛のみに制限させて頂き、一般車輛へは誘導看板・臨時駐車場などで対応した。
問 リバーサイドモールの整備は今後どのようなものか。
答 富良野の自然をイメージし、緑と賑わいの活性化に向け議論されている。整備計画が明らかになった段階で公表したい。



完成間近な駅前広場

問 駅前広場では当初緑の木も植える予定が、いつのまにかなくなりました。このようなことが市民に公表され

ながら環境、防災の面からも考えて行くべきと考えるが。
答 緑と水辺空間賑わいの創出と活性化に向け、話し合いが進められている。

問 駅前再開発の検証、反省を踏まえ、今後の77ヘクタールの中心市街地活性化に向けた取り組みが必要と考えるが。
答 健康増進施設、公共交通機関の集約が整備された。

問 協会病院跡地については、公的な土地であり駅前再開発の検証を含め集客機能が必要と考える。トイレの設置、市役所時間外窓口、ATM、観光インフォメーション、農業者と事業者の接点機能など、必要と考えるが。
答 「富良野市中心市街地活性化協議会」との連携により年度内の計画策定を考えている。四つの核施設、ソフト、イベント、まちなか居住、交通体系の専門部会を設置し、検討されている。空き地利用については、イベント等の活用が検討されている。

【その他の質問】
◇市職員の各行事への市民参加について
◇布部川上流部砂防工事について